

# 日置市 議会 だより

平成23年 第26号  
11月

## 9月定例会 主な内容

- こんなことが決まりました …… P 2
- 委員会審査報告 …… P 4
- 一般質問 …… P 7
- 請願・陳情／決算委員会 …… P 14
- 振り込め詐欺防止キャンペーン …… P 15
- 議員と語る会 …… P 15
- 委員会レポート …… P 16
- 追跡 市民の声はどう活かされたか? …… P 18
- 議会の動き／傍聴案内／編集後記 …… P 20

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地  
TEL (099) 273-2111 / FAX (099) 273-3063  
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp>



学年を超えたチームの絆 (永吉ソフトボールスポーツ少年団)



平成24年度

# 民間へ委託

# 診療所・青松園

## 平成23年度 9月補正予算クローズアップ

### ☆老人福祉費

補正額 5600万円

地域介護福祉空間整備推進交付金事業（国庫補助100%）の採択に伴う増額補正。（皆田、野首地区公民館）



改修される皆田地区公民館調理室

### ☆塵芥処理費

補正額 5400万円

クリーン・リサイクルセンターの焼却灰をセメントの原料にするための搬出口の改造工事に伴う増額補正。



搬出口として改修する箇所

### ☆児童福祉費

補正額 7913万円

鹿児島県安心子ども基金事業（保育所施設整備：田代保育園、いじゅういんきた保育園）のための増額補正。

### ☆観光費

補正額 50万円

11月13日に開催される日置市美味いものChampionship（チャンピオンシップ）事業への補助金。

### ☆農業振興費

補正額 1000万円

直売所東屋の建設に伴う補助金の増額。（飯牟礼物産館、蓬萊館、吉利物産館、四葉グループ物産館）

## 一般会計・特別会計補正予算

（1万円未満切り捨て、△はマイナス）

会計名	補正額	補正後予算	採決の状況
一般会計（第4号）	3億6291万円	236億7324万円	全会一致で可決
国民健康保険	1274万円	64億8234万円	全会一致で可決
特別養護老人ホーム事業	1031万円	3億2131万円	全会一致で可決
公共下水道事業	957万円	6億5425万円	全会一致で可決
農業集落排水事業	歳入予算の組替	3774万円	全会一致で可決
温泉給湯事業	213万円	695万円	全会一致で可決
公衆浴場事業	97万円	207万円	全会一致で可決
飲料水供給施設	歳入予算の組替	58万円	全会一致で可決
住宅新築資金等貸付事業	歳入予算の組替	324万円	全会一致で可決
介護保険	6781万円	50億4103万円	全会一致で可決
後期高齢者医療	△69万円	5億8650万円	全会一致で可決
診療所	△24万円	1億1754万円	全会一致で可決

9月定例会を9月7日から9月30日まで24日間開催し、条例の制定や改正、予算議案など22件、意見書1件を可決しました。また、平成22年度の決算認定17件は、決算審査特別委員会を設置して、閉会中の継続審査としました。

### 議決された議案

#### 条例制定

日置市議会の議決すべき事項を定める条例

日置市における総合かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想の策定や友好都市等の提携等を議会の議決すべき事件と定めるための制定。

《全会一致で可決》

#### 一部改正

##### 地区公民館条例

中央図書館および伊集院地区公民館の駐車場の拡張ならびに施設の老朽化のため、伊集院地区公民館の体育館を解体するための改正。

《全会一致で可決》

##### 税条例

入湯税の特別徴収義務者に係る帳簿記載の義務違反等に関する罰金の額の引き上げ等の改正。

《全会一致で可決》

に係る帳簿記載の義務違反等に関する罰金の額の引き上げ等の改正。

##### 《全会一致で可決》

災害弔慰金の支給等に関する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴う改正。

《全会一致で可決》



解体される伊集院地区体育館



民間委託される診療所

### スポーツ振興審議会条例

スポーツ基本法の制定に伴いスポーツ推進協議会とするための改正。

《全会一致で可決》

### 診療所条例

診療所の診療時間を変更するための改正。

《全会一致で可決》

### その他議案

いちき串木野市・日置市衛生処理組合規約の変更に関する協議

いちき串木野市の町の区域の設定および変更に伴う

規約の変更をいちき串木野市と協議する。

《全会一致で承認》

日置市診療所及び日置市特別養護老人ホーム青松園に係る指定管理者の指定

【管理を行わせる施設】

日置市診療所

日置市特別養護老人ホーム青松園

【指定管理者となる団体】

医療法人誠心会

【指定の期間】

平成24年4月1日～平成29年3月31日

《賛成17・反対4で可決》

# 議案審議の中身は？

## 〈常任委員会〉 審査報告

### 総務企画 常任委員会

委員長	出水賢太郎
副委員長	田代 吉勝
委員	松尾 公裕
成田 浩	
佐藤 彰矩	
大園 貴文	
坂口 洋之	
山口 初美	

#### 一般会計補正予算

歳入・歳出それぞれ3億6291万3千円追加し、総額をそれぞれ236億7324万2千円にするもの。

歳入の主なもの、児童手当および子ども手当交付金、減収補てん特例交付金の交付決定に伴う地方特例交付金の1532万4千円の減額。

地方交付税971万9千円の増額。地区振興計画実施に伴う地域づくり推進基金繰入金の1469万円の増額。臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴い、9280万円の減額など。

歳出の主なものは、人事

### 文教厚生 常任委員会

委員長	花木 千鶴
副委員長	並松 安文
委員	宇田 栄
梶 康博	
田畑 純二	
上園 哲生	
黒田 澄子	

#### 一般会計補正予算

歳入の主なものは、地域介護福祉空間整備推進交付金などで皆田・野首地区公民館の整備、備品購入などに伴う5600万円の増額。

安心子ども基金事業費県補助金で保育所緊急整備事業、地域子育て支援拠点環境改善事業、AED設置事業に伴う5689万1千円の増額。介護保険特別会計繰入金の前年度精算返納に伴う1469万円の増額など。

歳出の主なものは、地域介護福祉空間整備推進交付金事業で皆田・野首地区公民館の交流室等の改修やトイレ建設など工事請負費、放送機器やプロジェクターなど備品購入費の増額など。

異動等に伴う人件費6713万2千円の減額。辺地共聴施設整備事業5共聴施設（長里麓上、瀬戸内、下谷口、下谷口池田、長里）の事業決定に伴う949万3千円の増額。

コミュニティ助成事業の新規採択に伴う、立野、麓東、野田の3自治会の備品購入費580万円の増額など。



市産業建設部の移転予定の旧庁舎

#### 質疑の主なもの

問 政府が唱える一括交付金への対応はどうか。

答 市町村は24年度から実施予定だが、今のところ国からの情報や指示は何もない。

問 産業建設部が県地域振興局日置庁舎（旧伊集院合庁）に移転することについて、駐車場の確保はできているか。

答 来客用は地域振興局と

共用で23台分ある。職員駐車場は伊集院駅西側駐車場の奥を整備し対応する。

問 地上デジタル放送への対応と難視聴世帯の状況はどうか。

答 地デジ完全移行後に383世帯が難視聴となり、現在は衛星放送でカバーしている。24年度までに対応を検討している。

問 吹上町施設利用促進協会の内容と実績はどうか。

答 吹上地域の旅館や弁当屋、物産館などで組織し、22年度の実績で宿泊3497人、1776万円、弁当5555食、280万円の効果があった。

問 緊急雇用創出事業の美山陶遊館における薩摩焼後継者育成事業について、職人希望者の確保はどうか。また、単年度事業で技術を習得できるのか。

答 契約期間が終了した後も美山で働ける環境をつくり後継者として育てることが目的。人材は陶芸大学などから来る可能性

#### 質疑の主なもの

問 エコファミリーコンテスについて住民の関心は高まっているか。

答 広報紙、ホームページの他、様々な団体の総会等の機会でも周知している。

問 地域介護福祉空間整備推進事業の備品整備の制限と今後の計画はどうか。

答 備品購入は高齢者の生きがいがづくりに関するもので、地区公民館での健康器具や調理器具など多様に整備できている。来年度は鶴丸と吹上地区公民館を予定している。

問 生活習慣病対策プロジェクトは、どのような課題に対して効果をもたらすか。

答 本市は医療費が高く、医療費分析を行っている

問 特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算

歳入歳出予算をそれぞれ1031万8千円追加し、総額を3億2131万8千

円にするもの。



市診療所の内部（日吉）

がある。

問 日置市診療所及び日置市特別養護老人ホーム青松園に係る指定管理者の指定について

指定管理者  
医療法人誠心会  
指定期間  
平成24年4月1日～  
平成29年3月31日

問 診療科目を増やし、リハビリを充実させる計画だがスペースは足りるのか。

答 リハビリは物療室の面積が足りないが、他の空き部屋を使って対応できる。

問 青松園の現入所者や入所待機者への対応はどうか。

答 現入所者は契約を結び直し、入所を続けていただく。待機者は市が引き継ぎを行い、入所判定委員会でも入所を決定する。判定委員会には市職員も入る。

#### 後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ69万5千円を減額し、総額を5億8650万2千円にするもの。

問 介護保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ6781万9千円追加し、総額を50億4103万8千円にするもの。

問 歳入の主なものは、緊急雇用創出臨時特例基金事業の採択に伴う増額、介護ポランティア制度導入に充てるための交付金の増額など。

問 歳出の主なものは、介護ボランティア制度等の事業費や前年度精算に伴う精算返納金の増額など。

問 診療所特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ24万7千円を減額し、総額を1億1754万6千円にするもの。

問 歳入は、前年度繰越金の確定に伴う繰越金の増額と一般会計繰入金金の減額。

歳出は、人事異動に伴う人件費の減額。



市民へ貸し出しされているエコワット\*

\*エコワット…消費電力の簡易型測定器具

#### 質疑の主なもの

問 エコファミリーコンテスについて住民の関心は高まっているか。

答 広報紙、ホームページの他、様々な団体の総会等の機会でも周知している。

問 地域介護福祉空間整備推進事業の備品整備の制限と今後の計画はどうか。

答 備品購入は高齢者の生きがいがづくりに関するもので、地区公民館での健康器具や調理器具など多様に整備できている。来年度は鶴丸と吹上地区公民館を予定している。

問 生活習慣病対策プロジェクトは、どのような課題に対して効果をもたらすか。

答 本市は医療費が高く、医療費分析を行っている

特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算

歳入歳出予算をそれぞれ1031万8千円追加し、総額を3億2131万8千



介護予防教室の様子

# 一般質問

## これから どうする！ 日置市



9月定例会では13名の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

### より良い市政を目指して

専門分野の人材育成など、県の事務担当説明会、情報提供を見極め努めていく。

**質問2** 民間事業者による未普及地区の光ファイバーエリア拡大の整備検討は近年の超高速ブロードバンド普及は目覚ましい中、日置市情報化基本計画実現に向け、未普及地域やADS-L、光地域など情報格差是正の早急な取り組みが必要ではないか。

**質問1** 一括法改正後の受け入れ態勢、研修、専門分野の人材育成は十分か

第1・第2次一括法改正に伴い、これまで道府県や特別市、中核市の対象のみだったものが市町村に委譲されるが、施設設置・建設の管理基準の見直し、協議・同意の見直しや条例制定権の拡大等についての受け入れ態勢はどうか。

また、24年度以降の一括交付金化の実施への体制づくり、公営住宅（小規模校対策）の収入基準等の条例委任見直しの検討はどうか。

**質問2** 西日本通信事業者に光ファイバー未普及地域整備を要望

光によるサービスは伊集院地域、東市来地域の一部展開であり、民間通信事業者に対し、吹上地域をはじめ他のエリアを含む未普及地域の整備検討を依頼した。

今後、携帯電話、無線アクセスの進化で光ファイバー同等の高速化が見込まれ、無線を含めた検討も考えている。

高度情報化社会の到来が個人の生活、企業、行政サービスなど、あらゆる分野で大きな影響があり、ブロードバンド環境整備や利活用できる情報教育の推進が必要と考える。



高度情報化社会の到来

## 産業建設 常任委員会

- 委員長 門松 慶一
- 副委員長 西園 典子
- 委員 長野瑳や子
- 池満 涉
- 中島 昭
- 漆島 政人
- 東福 泰則

**一般会計補正予算**  
歳入の主なものは、農林水産業費分担金、農林水産業費国庫補助金、県補助金、災害復旧費県補助金の増額や土地区画整理事業負担金の減額など。

歳入の主なものは、農林



地元産大豆などを使ったなべスープの加工風景

水産業費で、日置市特産品消費拡大推進事業、活動火山周辺地域防災農対策事業などの新規採択に伴う増額。新規就農者経営定着支援事業の増額。

土木費では、山田川排水対策に伴う概略設計委託料や急傾斜地崩壊対策事業費の増額や上市来公営住宅建設工事の進捗よくを図るための増額など。

**質疑の主なもの**  
環境保全型農業の新規事業はどのように進めていくか。

**答** 地球温暖化防止、生物

多様性保全に取り組みと10aあたり8千円の直接交付金がある。本市では、化学合成農薬の5割低減とカバークロップ（レンゲを植えるなど）の取り組みや有機農業の申請がある。検討課題もあるが支援したい。

**問** 日吉の「なべスープ」の消費拡大、販売促進等のキャンペーンなどの計画はどうか。

**答** 現在、なべスープは城の下物産館と吉利物産館で販売している。市内各物産館で販売できるようにしたい。



降雨時にポンプで排水を行っている地下道

また、市内の飲食店でも食べられるような体制づくりと11月に開催される美味しいものチャンピオンシップに出品して広く市民に知っていただきたい。

**問** 新幹線の全線開業は日置市の特産品を売り込むチャンスである。特産品の開発部はあるか。

**答** 組織はないが、茶業振興会青年部がお茶で炊いたおにぎりをコンビニエンスストアで販売しようとしており、また、イチゴも城西高校と連携して「メロメロいちごパ

ン」を販売した。

**問** 伊集院駅の駅裏地下道のポンプ修理について、点検を行っているのか。

**答** 毎年点検を地下道3カ所で行っている。その中の1つが8年経過しており今回改善の指摘があった。

**農業集落排水事業特別会計**  
歳入歳出予算の総額は、既定のとおりでそれぞれ3774万4千円とするもの。

歳入は、前年度繰越金の決定により、一般会計繰入金との組み合わせに伴うもので、歳出は既定のとおり。

**住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算**  
既定の歳入歳出予算のとおりで、それぞれ324万5千円とするもの。

歳入は、前年度繰越金の決定により、一般会計繰入金との組み合わせに伴うもので、歳出は既定のとおり。

**飲料水供給施設特別会計補正予算**  
歳入歳出予算の総額は、既定の歳入歳出予算のとおりで、それぞれ58万8千円とするもの。

歳入は、前年度繰越金の決定により、一般会計繰入金との組み合わせに伴うもので、歳出は既定のとおり。

**質疑の主なもの**  
消費税額還付金はどのような経緯か。

**答** 消費税は合併し新市となったため、特例で2年間の免税措置があった。19年度から対象になり、特定収入の取り扱いを誤ったため還付が発生した。

**問** 消費税額還付金はどのような経緯か。

**答** 消費税は合併し新市となったため、特例で2年間の免税措置があった。19年度から対象になり、特定収入の取り扱いを誤ったため還付が発生した。



はなき 千鶴 議員

質問1 女性管理職の登用は

市長は公正・公平に判断しているというが、男女共同参画法の理念は、政策立案・決定の場に女性を参画させることである。女性管理職の登用なしに本市の男女共同参画は進まない。登用の考えは。臨時雇用となっている消費生活相談員と子ども支援センターの心理職は、条例委員にすべきではないか。

質問2 公正公平に空きポストの状況で判断する

本市の女性登用率が低いのは事実。優秀な人は適材適所に登用したいが、いろいろな経験も積ませる必要がある。消費生活相談員については、国の動向を見ながら検討したい。

質問2 防災マップの実態調査は

防災マップを作成中であるが、地域の実態や障がい者の抱く不安等をどのように把握しているか。また、造成地の盛土や地下壕等の情報はどの程度盛り込めるのか。マップに記載できない情報は、本庁・支所・ホームページ等で閲覧できるようにすべきではないか。

質問2 自治会長の声を聞く

市の防災計画をマップに落とし、自治会長さん方に見てもらい、意見を参考に仕上げる。盛り込めない情報は本庁・



かこい 康博 議員

質問1 冬の電力事情について

九州電力は、全ての原発が定期検査のため停止する模様である。農業用の暖房など消費電力は、夜間使用となるので特段の心配はないと考えるか。

質問1 政府の見解等から危機的状況は考えにくい

九州電力の原発6基のうち4機が停止しており、12月には残り2基も定期検査に入ると聞いている。検査後の再稼働にめどが立たないと全部の原発が停止することも想定される。来年1月に約67万kW不足が見込まれるが、修理中の火力発電所の早期運転や企業の自家発電の依頼などで回避に努力することである。経済産業省は、冬の電力不足は回避できると示している。

質問2 九州電力との情報交換は十分できる態勢にあるか

これを踏まえ、ソリダゴやイチゴの電照、マンゴーやハウスミカンを含む暖房用電力不足も懸念されるが、農業用電力消費は、夜間であり、政府の見解等から電力不足の危機的状況は考えにくい。農家への情報提供、営農上の指導、支援はどうか。農家個々が電力会社と交渉して対応していくのは、困難を要する。市が独自に、早い時期に情報提供を受ける態勢づくりが必要ではないか。

支所・ホームページ等で知らせたい。

質問3 水切りバケツの配布はどうか

生ごみの水切りができる、運搬費や焼却費の軽減と炉の耐用年数を延ばせる。水切りバケツを市民に配布する考えはないか。また、生ごみの堆肥化に取り組む考えは。

質問3 モニターを導入したい

モニター導入から始めたい。衛生自治団体連合会や生活学校の協力を得ながら、前向きに検討する。

質問4 省エネ施策の推進は

原発に頼らないというが、本市の代替エネルギー、省エネ施策の推進はどうか。

質問4 国の普及支援事業に申請中

調査費を確保し、適切な省エネ施策につなげる。



二重構造になっている水切りバケツ

質問2 農家の方も情報収集しながら営業所に頑張っていたください

原発周辺地域9市町で組織する連絡会を通じて、冬の予想される電力需要と供給バランスをどのように維持できるか、事前の申し入れや、九州電力鹿児島営業所と連絡を深めるなど態勢づくりを進める。

農家への情報については、電力使用制限令の発動や計画停電等が実施される場合は、各生産者組織を通して早急に詳細な情報を提供する。園芸振興協議会や各団体と連携して作物ごとに予想される問題や被害を予測して停電時の事前、事後対策の普及啓発に努める。農家への支援が必要と思われる案件があるならば行政としても検討したい。

農家の方々も情報収集しながら、営農に頑張っていたください。



冬の電力不足が心配される。(マンゴーハウス)



さかぐち 洋之 議員

質問1 昨年4月から設置された特別滞納整理課の成果と課題は何か

税の徴収は年々厳しい中、滞納者の中には制度の理解不足や納税意識の欠如による悪質な滞納等も増加している。納税者からは納税の義務を果たすが「先行きが不安で、どこまで負担が増えるのか予測ができない」という声もある現状をどのように認識しているか。

質問1 各課との連携・公平・公正な徴収、職員の資質向上が課題

昨年4月に特別滞納整理課が設置され、県内最初に債権管理条例が制定された。納税相談や夜間徴収等に取り組むが、経済や雇用の悪化で納税者の納付環境は厳しくなっている。ケースに応じた納税計画を心がけている。負担については同感だと考える。負担・社会保障合わせて現状を注視する。

質問2 不納欠損の状況と主な原因、改善に向けて今後の取り組みは

市税、国保税、水道使用料、保育料、介護保険料等の時効消滅となる原因と対策は。

質問2 22年度決算で3715万円。粘り強く取り組み

生活困窮、行方不明、会社等の清算が主な理由である。各担当課が責任を持ち取り組む課題である。



くろだ すみこ 議員

質問1 大腸がん検診無料クーポン事業に取り組みまないか

国は、今年「女性特有がん検診事業」を「がん検診推進事業」に改め、大腸がん検診にも2分の1助成を決めた。しかし、本市では今年度取り組んでいないが、市民の命を守るために取り組むべきでは。

質問2 24年度に大腸がん検診無料クーポン事業に取り組み

本市はがん検診を合わせた総合健診に6月から取り組んでいたため、本年度は取り組めなかった。来年度から取り組んでいく。

質問2 聴覚障がい者の緊急時の対応にWEB119を設置できないか

東日本大震災では、障がい者が健常者の2倍の確率で亡くなっておられる。聴覚障がい者の命を守るWEB119を設置できないか。また、視覚障がい者の情報のバリアフリーのために音声コード事業に取り組みめないか。

質問2 アンケート調査を行い、今後、検討していく

現在はファックス等で情報提供している。固定電話は場所の確認ができる。しかし、携帯電話はGPS機能があるものしか正確な位置がわからない。音声コードもあわせて今後検討する。

質問3 再生可能エネルギー法成立の見解と本市も調査研究の実施を

国民の66%が将来的な原発に頼らないエネルギー政策を求め、新エネルギー政策を求める声がある。日置市議会も新エネルギー推進の決議をした。本市は恵まれた自然環境もあり自然エネルギーの活用調査研究をすべきでは。

質問3 永吉ダムの活用策など委員会を設置し民間企業と連携したい

エネルギー政策の転換、太陽光・水力・風力など自然エネルギーの再生利用が前向きに取り組む課題と考える。本市では、国の「スマートコミュニティ」事業の補助を申請し調査、研究を実施する。

質問4 空き家対策に国の補助事業を活用できないか

空き家・廃屋等の管理についての相談が多い。個人の所有物であり、全国的にも対策が厳しい現状がある。

質問4 補助事業には個人の負担もあり解決が難しい

空き家数については調査する。



永吉ダム

※スマートコミュニティ…省エネルギーのインフラ（産業基盤や社会福祉・環境施設など）や次世代送電網などを一括整備する地域。

質問3 高齢者と子どもを熱中症から守る熱中症計とミストシャワーの設置は

ニュースでは、毎日熱中症で重傷者や死者が出たと報道されている。志布志市では7月より小中学校全クラスに1個840円の携帯型熱中症計が配備され、茨城県取手市では、小中・幼稚園全校に4500円の安価なミストシャワーが設置された。本市でも取り組めないか。

質問3 既に、保育園3園がミストシャワーを設置

広報誌や高齢者の体操クラブ等で啓発している。学校においては、適切な指導を行っているため携帯型熱中症計の配備は考えていない。

質問4 ドクターヘリのランデブーポイントはどこで何力所か

12月運航開始となるが、出場要請は誰が行うか。

質問4 県消防学校・各運動公園の5カ所にランデブーポイント予定

出場要請は、消防機関が行う。今後、県と打ち合わせをしながら対応していく。



大腸がん無料クーポン券（見本）

※ミストシャワー…細かい霧の粒子を放出することにより、気化熱を利用して温度を下げるもの。  
※ランデブーポイント…救急車との合流地点のことで、場外離着陸場ともいう。



池満 渉 議員

**問1** 生活保護制度等の運用は、適正に  
なされているか

一部の受給者の生活実態について批判の声を聞く。苦しい中働き、納税を果たす市民は、不公平感を感じている。本市の実態はどうか。市民からの声にどのように対応しているか。また、支給の取り消し例はないか。傷病・高齢・母子以外の「その他世帯（就労しているが収入が少くない、または就労していない世帯）」への就労支援は充分か。

**答1** 市民の不公平感を払拭するため  
に、調査・指導を徹底する 「市長」

保護世帯は368戸、その他世帯は102戸。生活保護扶助費総額は約8億円、うち一般財源は約2億円。電話や投書などもあり、すぐに調査し遊興費への使途があれば訪問指導している。以前、車両所有違反で保護を廃止した例がある。



江口漁港での水揚げ風景

仕事の選り好みなど勤労意欲の減退も一部見受けられるが、とにかく働くことを勧めていきたい。

**問2** 吹上浜沖合のまき網船操業問題の  
取り組み経過は

不漁続きで、漁師も廃業寸前である。自立した生活ができるよう行政としての、その後の取り組みはどうか。継続した行政の応援体制が必要だが。

**答2** 引き続き西薩地域の要望取りま  
とめへの努力が重要 「市長」

江口漁協が窓口となり、西薩地域の要望を取りまとめることが先決である。今後、隣接の市と連携して解決に取り組みたい。

**問3** 建国記念の日を本市主催で祝うべ  
きだが

伊集院町時代は建国記念祝賀会が開かれていた。取りやめの理由は何か。

**答3** 実施団体があれば、市も協賛など  
検討したい 「市長」

震災復興など、日本人としての絆を取り戻すためにも、市が主催して建国記念日を祝うべきではないか。

**問4** 伊集院町時代は、平成16年まで家族へ  
の手紙コンクール・花壇コンクール・ス  
ポーツ少年団の清掃活動などが行われて  
いた。手紙コンクールは郵便事業会社の  
都合で、花壇コンクールは主催者の都合  
で取りやめになった。現在は永吉南郷会  
主催で、建国記念を祝う剣道大会が続け  
られていて、市も協賛している。今後、  
各種団体が主催すれば市としても協賛・  
支援したい。



西園 典子 議員

**問1** 原発立地市と近隣の自治体として  
の立場や違いをどう認識するか

東日本大震災から半年、福島では放射性物質への不安と復興への課題が山積している。本市は川内原発に近くても、交付金もなく稼働などに対する決定権もない。しかし、事故が発生すれば影響は大きい。その矛盾をどう考えるか。

**答1** 放射能測定や情報伝達の安全対策  
が確立されていない 「市長」

行政区域で区分されており、モニタリングポストなど測定機器設置がなく、事故時の情報伝達など安全対策の取り決めが確実でない。

**問2** 川内原発30km圏内9市町で構成す  
る協議会設置の状況は

本市は九電に対し、9市町との安全協定締結や協議会設置を2回要望しているが返事がない。危機感を感じて集まった9市町の連絡会の目的と状況は。

**答2** 互いの情報交換と協議会設置で安  
全協定の締結を進めたい 「市長」

2回担当者で情報交換した。原発周辺の安全確保を早急に進めるため、協議会を設置して安全協定など具体的な対策を確保するため、歩調を合わせ申し入れをしていく。

**問3** E P Z 30 km 拡大を知事は提示して  
いるがどう対処するか

重点的防災区域は、福島事故の現状を見れば20kmでは不十分である。9市町首

※E P Z…原子力防災対策を重点的に充実するべき地域の範囲。



被災地の様子（福島）

長で連携し、市長が提示していたように、E P Z 30 km 拡大を早急に要求して実効性のあるものにすべきではないか。

**答3** あらゆる機会ですり入れしてい  
きたい 「市長」

知事の考えは異なるようだが、9市町は市民が安心して暮らせるよう安全基準の抜本的見直しを国・県に強く要望していく。その上で本市の対策を講じたい。

**問4** 子どもの安全な食として学校給食  
にどう対処するか

学校給食は子どもの健全育成と教育的見地がある。国の暫定規制があるが影響が懸念される。食品に含まれる放射性物質の安全に対してどう対処するか。

**答4** 地産地消を基本としていく  
 「教育長」

食材は地元産や県内産を優先し、学校給食会や食材業者と連携し、出荷制限など情報に留意して選定していく。



山口 初美 議員

**問1** 市営住宅の改善要求への対応と使  
用料減免制度活用はどうか

古い住宅ほどたくさんの方々が寄せられる。汲み取り式トイレの改修計画はどうなっているか。合併浄化槽への切り替えを一般住宅にも呼び掛けているが、市営住宅が先ではないか。小さい子どもは、落下の危険があり、女の子がいる世帯は、いろいろと気を使うので改善が必要だ。また、住宅使用料の減免制度は、活用されているか。

**答1** 汲み取り式トイレは、計画を立て  
年次的にやるべきと認識 「市長」

改善要求については緊急性のあるものから対応している。市営住宅は約一千戸あるが、219戸が汲み取り式のトイレである。計画を立てて年次的に、やっていくべきと認識している。住宅使用料減免については、今後も福祉課とも連携していく。

**問2** 危険な原発から安全なエネルギー  
への転換をどう進めるか

安全な自然エネルギー、再生可能エネルギーの開発をどう進める考えか。

**答2** 自然エネルギーの開発を積極的に  
進めたい 「市長」

総務省のスマートコミュニティ事業を申し込んだ。自然エネルギーの開発を積極的に進めたい。



上園 哲生 議員

**問1** 土地開発公社の今後の運営方針とし  
て新規先行取得の活用もあるのか

鹿児島県市町村土地開発公社が解散し平成21年11月清算が終了した。日置市土地開発公社は住宅団地9地区、工業団地1地区を残余財産として引き継いだ。現在、処分・賃貸借・管理の対応に追われている。今後の運営方針として、新たな先行取得の取り組みは。

**答1** 引き継ぎ財産の処分があるのみ  
 「市長」

未造成の住宅団地4地区、吹上本町団地2期分、さらに造成団地においても売れ残り区画が16区画あり、当分の間はこの処分をまず図り、新たな先行取得は考えていない。

**問2** 清藤工業団地の全区画活用による  
借入金5億円の返済計画は

清藤工業団地8区画が、誘致企業の進出や工場増設により全区画活用される見通しとなった。これまで借入金を毎年借換えて対応し、借地料を支払利息の一部に当ててきた。これからは借地料が支払利息よりまきり、元本支払いの原資積立が可能となる。今後の経済状況、経営環境、金利動向等流動的要素は多々あるがどの様な返済計画を立案しているのか。

**答2** 平成42年度返済をゼロに  
レーシヨンにする 「市長」

全区画が利用されることになり毎年の借地料、借地期間満了後の処分価格、そ

**問3** 国保税の増税後の問い合わせや苦  
情、納税相談などはどうか

国民健康保険の増税後、問い合わせや苦情、相談などが寄せられたと聞いているがどうか。「収入は減っているのに税金が上がるのは納得いかない」「少ない年金でやっと暮らしているのに、有無を言わず、国保税まで差し引く、こんなやり方はひどい」等の声が寄せられている。高すぎる国保税は引き下げが必要ではないか。軽減措置（減免）は活用されているか。また、一部負担金（病院窓口で支払う医療費）の減免について周知徹底し活用されているか。

**答3** 問い合わせや相談など窓口や電話  
で計413件あった 「市長」

税額については23年度の財政状況を見ながら今後検討していかなければならない。一部負担金の減免等は相談があったが該当しなかった。



大田水力発電所（明治41年使用開始）

の間の支払利息、その他経費等から借地期間満了後の平成42年度返済のめどが立つシミュレーションをしている。

**問3** 未造成の住宅団地は、計画変更も  
視野に入れるべきでは

当初、住宅団地計画を進めてきたが、人口減少時代、現状のデフレ経済下での厳しい住宅取得状況、民業圧迫への配慮を考えると、未造成の住宅団地の活用には、当初計画の変更も必要と考える。どの様な対応で臨むのか。

**答3** 自然エネルギー開発用地としての  
活用の調査も含めて検討 「市長」

土地取得の経緯も様々であり、補助金適化法の問題も考えられるが、最近の状況を見ると住宅団地造成による対応では、負債を大きくする可能性もあると思われる。自然エネルギー関連への調査もしながら新たな活用も考えていく。



清藤工業団地の平面図



出水賢太郎 議員

地域公共交通のあり方、今後の方針はどうか

①コミュニティバスや乗合タクシー、廃止代替バス、空港バスなど、地域公共交通の利用状況はどうか。
②今後の方針は、日置市地域公共交通会議で議論され決定されるが、交通弱者など利用者の視点に立っているか。行政主導になっていないか。

利用状況など精査し、効率的で利用性の高い運行方法を考える

①人口減少などが影響し、コミュニティバスや乗合タクシーの利用は、昨年度比18%の減。岩崎グループ廃止代替バスは、8%減である。また、串木野く東市来く伊集院く空港線は1869人の減で、市の赤字補てんが膨らんでいる。いちき串木野市では廃止を決定したが、日置市は公共交通会議で存続の有無を検討する。
②公共交通会議はバスやタクシー業者、高齢者や障がい者団体、自治会等の代表15人で構成されており、本年度は空港バスの問題が議論されている。現在、伊集院地域内の運行体制について、ゆすいん利用の高齢者を中心に不満の声が出ているので、交通弱者の方々へのアンケート等を行いたい。

空き地・空き家への対策を図るべきではないか

①昨年も空き地・空き家への対応として、条例整備、罰則規定の整備を求め質問し

だが、検討結果はどうか。

②このまま放置すれば、火災や事件・事故などの防犯上の問題やシロアリ被害など懸念される。まずは空き地・空き家の状況を把握し、所有者や自治会、行政など関係者が連携して、対応を考えるべきだが、見解を伺う。

ます空き家調査を行い、検討委員会を設置したい

①市環境保全審議会に諮ったが、財産権の問題などあり、行政ができることには限界があるため、罰則規定を設けるなどの条例整備は難しいと決定した。
②市内の空き地・空き家の状況は深刻である。18年度に空き家調査を行ったが、状況が変わっているため、調査事業を予算計上したい。その結果をもとに、自治会長や不動産業者などを入れた検討委員会を設置し、空き家バンクでの情報提供やイターン・Uターンの活用など、空き地・空き家対策を考えていきたい。



適正な管理がなされている空き家



大園貴文 議員

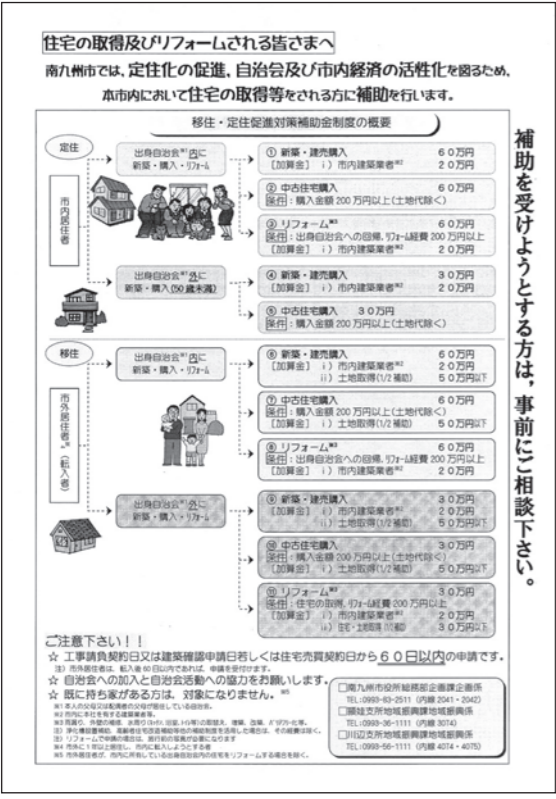
物から人への投資の転換を

過疎地域(吹上・日吉・東市来)に移住。定住のため、南九州市や霧島市の事例を参考に新築・中古住宅・宅地購入される方に一定の補助金を。また、出身自治会に帰属する人やリフォームする人で、地元建設業者を利用すると加算金を受けられる制度を創設してはどうか。

自治会および市内経済の活性化と人口増により住民の不安が軽減されると考えらるがどうか。

24年度当初に向けて独自のソフト事業を進める

自主財源確保に定住促進は進めなければならない問題であり、有利な過疎債を



南九州市の定住促進パンフレット (南九州市提供)



田畑純二 議員

少子高齢化・人口減少社会のまちづくりについて

①人口減少社会の日置市まちづくりは。
②第2次行政改革大綱では現在の社会をどうとらえ、どう対処するつもりか。
③4地域が持つ特性を生かして、持続的発展が可能ならまちづくりをどうするか。
④社会保障費や扶助費の現状はどうか。
⑤公的市長室サロントークを設置しては。

人口減少を最小限に抑え、将来増加方向へ転じていきたい

①定住、企業誘致、産業振興と市と農村の交流による地域活性化が必要。
②組織機構等見直しによる歳入の抑制、新たな自主財源確保等による歳入確保に努める。
③4地域の特性を生かすため、現在26地区公民館で第2期地区振興計画を策定中。
④22年度で24.8%増。23年度で9.6%増。多様化し複雑化する市民ニーズに添えていく。
⑤現場主義で従来同様各地域に出かける。

指定管理者制度の適切な運用に向けて

①趣旨や目的、活用方法をどう理解し、その最適化に向けてどうしているか。
②公共サービスを高める官民連携をどう考え、適正な運用をどう図っていくか。



東福泰則 議員

県道養母長里線の改良は

主要道路の整備が生活環境や経済活動に及ぼす影響は非常に大きい。現在国道3号線から東市来中学校まで改良が進められているが、長里・梅木地区が遅れている。今後の見直しと市の対応は。また、県道の改良率はどれくらいか。

県に強く要望していく

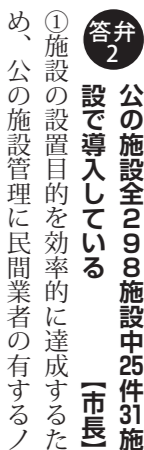
県道の総延長12.6km、改良率75%となっている。養母長里線については、現在古市地区の工事が進められてきており、難航していた用地および補償関係全て地権者の了解をいただいている。現在は共同墓地の登記関係の手続き中である。

県道までの取り付け区間の予算を23年度まで確保し早期に完成を目指す計画。梅木地区については今のところ計画は上がっていないが、野山之坂も含め県に強く要望していく。

防災行政無線の整備状況は

最近の災害は、いつどこでどのような起るか予測できない。局地的ゲリラ豪雨による被害は、時期に関係なく起きている。今こそ防災無線の整備が急がれるが、進捗よく状況は。

23年度中に電波調査と実施設計を行う



公の施設全298施設中25件31施設で導入している

市域防災計画について

①この計画の見直し内容と進捗状況は。
②市防災ニュースを再作成しては。
③各自治会の自主防災組織の結成状況は。

市総合防災訓練の成果と見直しは。

防災計画を見直し23年度末には作成し、配布したい

①毎年必要に応じて見直しを行っている。
②国県の見直し等も勘案して検討する。
③現在57.2%の結成率である。今後80%以上を目指す。
④原子力事故の発生等も想定して訓練する。



津波を想定した高台への避難訓練 ※アウトソーシング・業務などの外部委託

基幹部分をデジタル化、24年度から現在のシステム統合化を行い、古い施設から順次更新整備を行うよう進めていく。各家庭へは戸別受信機を地域コミュニティ無線で整備を行っていく。

防災・災害対策の今後の取り組みは

東日本大震災を機に、津波を想定しての避難訓練・防災計画の見直しや防災教育が求められるが、今後の取り組みを伺う。

身近な組織においても訓練を実施していきたい

今年度総合防災訓練において津波を想定した避難訓練を実施した。今後は身近な自治会や自主防災組織においても自主的に避難訓練を行うよう指導していく。防災計画においては、防災教育も含め国・県の防災計画の見直しも考慮しながら、津波や原子力発電所事故を想定した防災計画、避難所等の見直しもしていきたい。



改良が進む東市来中学校付近の道路

## 請願書・陳情書はこうなりました!

9月定例会で審議された皆さまからの請願書・陳情書の審議結果は次のとおりです。

請願書・陳情書					
件名	提出者	紹介議員	付託先	結果	意見書提出先
川内原子力発電所3号機増設凍結と1号機2号機の見直し等についての請願	原発を考える日置市民の会 代表 町田 博文	西菌 典子	総務企画 常任委員会	審議未了	
福島原発事故を踏まえ川内原発3号機増設見直しについての陳情	季節風と放射能を考える湯之元の会 米村 麗子		総務企画 常任委員会	審議未了	
公共交通機関の存続に向け、JR九州等に係る経営支援策等を求める意見書に関する請願書	九州旅客鉄道労働組合 鹿児島地方本部 委員長 上野 真	坂口 洋之	総務企画 常任委員会	継続審査	
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書の採択要請について	山下 博司	坂口 洋之	文教厚生 常任委員会	継続審査	
地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める請願	鹿児島地域労働者福祉協議会 会長 徳田 哲也	西菌 典子	総務企画 常任委員会	採択	内閣総理大臣 衆参議院議長 総務大臣 財務大臣 消費者担当大臣
TPP(環太平洋連携協定)交渉参加反対に関する陳情書	さつま日置農業協同組合 代表理事組合長 宇都 清照		産業建設 常任委員会	継続審査	
日吉老人福祉センターゲートボール場の人工芝化と風防壁設置について	日置市高齢者クラブ連合会 会長 大西 早苗	成田 浩	文教厚生 常任委員会	継続審査	

## 決算審査特別委員会を設置

平成22年度の日置市の決算を審査するため、地方自治法第110条および第233条に基づき、決算審査特別委員会を設置した。目的は、歳入の確保がしっかりなされているか、歳出が適正に執行されているかなどを、決算書や補足説明資料に基づいて審査し、住民に代わってその成果を評価するものである。そして、決算年度における財政運営が適正であったか、その計画性・弾力性・積極性を総合的に判断し、議会として次年度の財政運営の改善と健全化に役立てるよう、慎重な審議を行う。審査結果は12月議会で報告され、本会議で決算認定の採決を行う予定である。

委員長 中島 昭  
副委員長 坂口 洋之  
委員 佐藤 彰矩  
長野 瑳や子  
西菌 典子  
花木 千鶴  
上園 哲生  
山口 初美



12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	決算審査の流れ
決	12月議会で報告・採	決算審査特別委員会による審査	9月定例会議会上程	審査	監査委員による決算	6月定例会議会	出納整理期間	平成22年度決算 (23年3月31日)	

## 振り込め詐欺にご用心!

9月14日にタイヨーグランド伊集院店前で日置市民生委員・児童委員、日置警察署、市議会で振り込め詐欺防止キャンペーンを行いました。

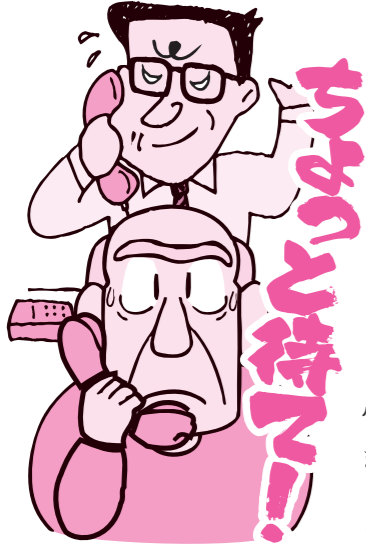
市議会では、平成21年に「振り込め詐欺撲滅に関する決議」を行っており、警察や関係機関と連携し、市民と一体になって振り込め詐欺被害撲滅に向けた対策を推進しています。

日置市では、最近振り込め詐欺とみられる相談が警察署に数件寄せられています。

市内の高齢者宅に社会保険事務所職員や日置市職員を騙る男から「医

療費の過払い金があります。過払い金を返金するので、携帯電話を持ってATM(現金自動預け払い機)へ行ってください。」と電話があった。電話を受けた方は、銀行のATMへ行き、指示された番号に電話して男の言う通りにATMを操作したところ、返金されるどころかお金が相手に振り込まれた。

この例は銀行員の機転により、振り込まれたお金が戻ってきましたが、典型的な振り込め詐欺です。日置市では実質的な被害は出ていませんが、このような相談が寄せられています。皆さんも十分注意し、振り込め詐欺の被害に遭わないよう用心しましょう。



警察総合相談窓口  
#9110または  
099-254-9110へ  
お問い合わせください。

## 伊集院地域女性連「議員と語る会」開かれる!

8月10日、伊集院地域各種女性団体連合会の主催による「議員と語る会」が開催されました。会員約50人と伊集院地域の議員8人が参加しました。

語る会では、各議員が市政報告とあいさつを行った後、あらかじめ各種女性団体から質問を受けていた8項目について、市当局と協議内容を含めて、議員が説明しました。

また、皆さんから生活に関するさまざまな意見や身近な質問などが出され、活発な意見交換がなされました。生活に密着した生の声を聞くことができ、大変有意義な会になりました。

今回の語る会で出された意見・要望は、議会でもよく検討し、市政に届けていきたいと考えています。

### 【主な質問内容】

- ・生ゴミの減量について
- ・伊集院駅周辺の整備について
- ・速度標識等の設置について
- ・高齢者社会における高齢者の役割について



- ・医療費抑制の取り組みについて
- ・消費者大会について
- ・男女共同参画社会について
- ・議員として力を注ぎたいことについて



# 市民の期待に応えるよう、議会は動きます！

## ～各委員会の活動記録～

### 文教厚生常任委員会行政視察

- ・公立学校の統廃合について(唐津市)
- ・特定検診の受診率向上対策について(飯塚市)

調査日 8月8日～9日

【公立学校の統廃合について】  
現在、今後の小中学校の在り方について日置市学校在り方検討委員会と協議中である。所管委員会として公立学校の統廃合におけるメリットやデメリット、地域及び保護者からの意見等について統廃合を実施した佐賀県唐津市で調査した。

●統廃合の主なメリット  
・多様な考え方に触れる機会が増え、学習課題を解決するための思考が広がる。  
・クラス替え等による学習

環境、生活環境の変化に対応する力が付けられる。  
・学級数が増えることで、教職員定数が増え、教科に必要十分な教職員を配置することができる。

●統廃合の主なデメリット  
・児童生徒へのきめ細かい指導の場数が少なくなる。  
・上級生や下級生との縦の関係が薄くなる。  
・地域と連携した活動が得にくくなる。

まとめ  
・地域や保護者への情報提

【特定検診の受診率向上対策】  
日置市の一人あたりの医療費は年々高くなっている。今後の対策として、特定健診の受診率を上げることが重要であるので、福岡県飯塚市で調査を行った。

まとめ  
飯塚市も国保会計が切迫した状況にあるが、健診率



向上への取り組みに工夫が見られた。本市でも次のような工夫をすべきである。  
・健診への案内は、チラシや問診票の工夫が必要。  
・電話による受診勧奨の臨時職員配置も検討が必要。

### 文教厚生常任委員会所管事務調査

## 教職員住宅および学校給食センターの現状は

調査日 7月4日

【学校給食センター】  
伊集院学校給食センター、東市来学校給食センター、日置南給食センターの3施設で日置市内全ての公立小中学校の給食を配食。

委員の意見  
・センターにより従業員数が増え、コストの差がある。従業員数も規模に応じて配置すべきであり、献立・給食費も平準化すべきである。  
・米飯の外部委託は当該センターでできるように対策を講じるべきである。

【教職員住宅】  
市内6小学校の校長住宅、教頭住宅の現状を調査。

委員の意見  
・校長、教頭の異動時期での住宅の入退居日を調整して修繕を行うべきである。それが困難な場合は、年に1回程度点検調査し、年次的な改修をすべきである。  
・市内の学校管理職住宅は老朽化しているものが多



い。伊集院地域以外でも建て替えが必要になれば、民間の賃貸住宅がある地域は選択肢としても良いのではないか。

### 産業建設常任委員会所管事務調査

## 公共施設の管理状況は

調査日 7月12日

【中山間総合整備事業(牧之原地区)】  
ほ場が未整備で小区画であるため、大型農業車ならびに大型機械の導入を図り農業所得の向上と近代化農業の確立を目指すため区画整理を計画している。

委員の意見  
・24年度採択に向けての計画が進められ、地権者の同意も得られている。生産性の向上、農作業の効率化など採択に向け努力されたい。  
・受益者などの後継者育成も進み期待したい。飼料

【農業集落排水事業永吉処埋場】  
敷地面積 991㎡  
受益者数 541人

委員の意見  
・築11年が経過したが、今後大規模改修等も考えられる。約8千万円の基金があるが、事業運営のさらなる配慮をされたい。  
・適正に管理されている。

【和田地区公営住宅建設予定地】  
2カ年計画で10戸建設。23年度は6戸完成予定。

委員の意見  
・建設してから32年が経過している。設計時の耐震力と現在の満水時における耐震力に差が発生していないか把握する必要があるのではないか。



・入居条件を定め、募集に向けて地区民の協力を得ながら進められたい。

### 総務企画常任委員会所管事務調査

## 市有財産等の管理状況は

調査日 7月8日

【旧池田中学校跡】  
鹿児島県陶業協同組合が賃借し「日置藤元陶芸館」を開業。

委員の意見  
・賃貸料の減免をしているが、契約時の文書等で目的や条件を明らかにすべきである。  
・日置藤元陶芸館を市の観光名所として育て、駐車場やトイレなど中長期的な施設整備も考えるべきではないか。

【旧野首小学校校舎】  
画家の佳月優氏が賃借し「アトリエ・ギャラリー「野月舎」として活用。廃校リニューアル50選に選ばれている。

委員の意見  
・旧野首小学校校舎は、施設までの案内板設置やPR、情報発信に努めてほしい。

【ゆーぐる吹上】  
指定管理者制度を実施し温泉、食事の利用が減少している。

委員の意見  
・利用者数の向上を指定管理者と行政双方が対策を講じるべき。

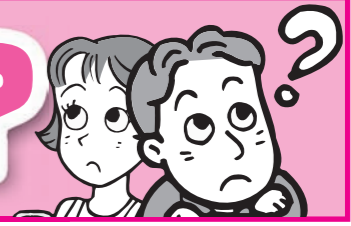
【吹上砂丘荘】  
昨年の口蹄疫の影響でキャンセルが相次いだ。本年7月にレストランが新メニューを用意し集客を図っている。

委員の意見  
・食事が工夫されており、ランチ利用も多い。営業努力がみられる。



【吹上浜キャンプ村】  
委員の意見  
・バンガローにレンタル式エアコンを設置するなど、利用者ニーズに応え利用増を図るべき。  
・小中学校の利用促進など、PRをもっと充実させるべき。

# 追跡 市民の声はどう活かされたか？



**CM大賞に参加しないのか**  
 民間放送KKBがCM大賞を計画している。本市も参加する考えはないか。  
 【平成21年12月に質問】

市長の答弁は

**22年度は参加していきたい**  
 旧伊集院町と旧吹上町は参加していた。22年度から参加する方向で検討したい。  
 【平成21年12月に答弁】

その後、こうなりました！

**22年度、23年度CM大賞に参加！**  
 22年度3本のCMを作成して参加し、「シタイだれたデ賞」を受賞。23年度も鹿児島城西高校作成の1本を含む3本を出品中。



**救急医療情報キットの導入を**  
 自宅で救急車を呼んだ際に、救急隊員に迅速で的確な情報を伝えるために、救急医療情報キット（氏名・年齢・血液型・持病などの情報を専用容器に入れてあるもの）を導入しては。  
 【平成22年3月に質問】

市長の答弁は

**関係機関と協議し検討する。**  
 1秒を争う救急出動の中で、高齢者や障がい者の安心安全のために導入を検討していく。  
 【平成22年3月に答弁】

その後、こうなりました！

**23年度2500セットを希望する世帯へ無料配布！**  
 救急医療情報キット配布事業を実施し、2500セットを希望する世帯へ無料で配布。



**災害時の情報手段の整備を早急に！**  
 平成21年10月の奄美豪雨災害では、電話や防災無線など情報手段が断絶した。早急に整備を進めるべきでは。  
 【平成21年12月に質問】

市長の答弁は

**衛星携帯電話などの導入を早急に図りたい。**  
 23年度に本庁や支所、消防などに衛星携帯電話を配備したい。  
 【平成21年12月に答弁】

その後、こうなりました！

**衛星携帯電話の導入へ。**  
 23年度に本庁、3支所、消防へ衛星携帯電話を配備した。



**環境自治体会議を本市で開催できないか**  
 2千人程の参加が見込まれる会議で、環境施策の推進が図られるだけでなく、経済効果も大きい。日置市で開催できないか。  
 【平成21年9月、平成23年6月に質問】

市長の答弁は

**5年内の開催をめどに、首長会議に提案する。**  
 首長会議に提案する。会議は会費と関係者の手づくりで行う。  
 【平成20年6月に答弁】

その後、こうなりました！

**日置市での開催が正式に決定！**  
 平成26年度に日置市での開催が正式に決定し、現在実行委員会を立ち上げ、開催に向けて準備中。



# 議会の動き

月日	行事等	月日	行事等
8/3	行政視察来庁（兵庫県加西市議会）	10/13	決算審査特別委員会
8/4	行政視察来庁（三重県伊賀市議会）	10/14	決算審査特別委員会
8/18	行政視察来庁（大分県豊後大野市）	10/17	常任委員会（産業建設所管事務調査）
8/19	議員全員協議会	10/18	決算審査特別委員会
8/24	行政視察来庁（山口県防府市議会）	10/19	決算審査特別委員会
8/31	議会運営委員会	10/20	決算審査特別委員会
	広報編集委員会研修会	10/21	広報委員会
9/7	第4回定例会（第1本会議）	10/24	常任委員会（総務企画所管事務調査）
9/8	常任委員会（総務企画・文教厚生・産業建設）	10/25	議員全員協議会、議会運営委員会
9/9	常任委員会（総務企画・文教厚生）		常任委員会（総務企画所管事務調査）
9/12	常任委員会（総務企画）	11/1	行政視察来庁（宮崎県三股町議会）
9/16	第4回定例会（第2本会議・一般質問）	11/2	常任委員会（文教厚生所管事務調査）
9/20	第4回定例会（第3本会議・一般質問）	11/1	産業建設常任委員会行政視察 （福岡県宗像市、福岡県朝倉市）
9/21	第4回定例会（第4本会議・一般質問）	～2	
9/26	議会運営委員会	11/7	総務企画常任委員会行政視察 ～8 （熊本県天草市、長崎県雲仙市）
9/30	第4回定例会（最終本会議）	～8	
	議員全員協議会	11/8	行政視察来庁（福岡県糸島市議会）
10/4	広報委員会	11/10	広報編集委員会行政視察 ～11 （佐賀県嬉野市、福岡県柳川市）
10/12	決算審査特別委員会	～11	

## あなたも、議会を 傍聴してみませんか。

市議会は、市の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。



50席ある傍聴席

**是非、傍聴に  
おいでください。**

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
- 本庁4階までお越しください。  
(エレベーターがあります。)

【問い合わせ】  
議会事務局 TEL 273-2111

**市民のみなさん、市内の公共  
施設で議会中継を見ることが  
できます！**

**次の場所で議会中継を  
行っております。**

市役所本庁1階ロビー、  
各支所1階ロビー、  
各地域中央公民館、各地区公民館、  
美山陶遊館、ゆすいん、  
日置市診療所、吹上砂丘荘

学校の社会科見学や自治会、PTA等の  
研修でぜひ傍聴にお越し下さい。

編集後記

この夏は全国的に電力不足により、企業や学校、家庭でも節電対策が取り組まれ、24時間利便性を求め続ける生活環境やスタイルを見直す契機となりました。本市でも、これまでも温暖化対策や緑のエコカーテン等に行政、市民も積極的に取り組んでいます。大量消費社会から地球にやさしいエコ社会を目指したいものです。

本県も人口170万人を割り込み年間1万人前後減少する急激な人口減少社会を迎えています。少子高齢者・長引く経済不況など課題も指摘された9月議会でした。行政・議会・市民の情報共有しながら知恵と工夫、協力で問題を解決できればと思います。皆さまのご意見をお待ちしています。

《発行責任》

議長

松尾 公裕

《編集責任》

広報編集委員会

委員長

梶 康博

副委員長

坂口 洋之

委員

漆島 政人

委員

東福 泰則

委員

山口 初美

委員

黒田 澄子